



虹の橋編物同好会 作品展
エントランスホール展示
 会期 3月1日(火)～13日(日)
 コート、ワンピースなど、後世に残したい編物作品約150点を展示します。

企画展
第2回 城下町つるの雛まつり展
 会期 4月9日(土)～5月5日(木)
 主催 都留市教育委員会
 城下町つるの雛まつり展実行委員会
 後援 富士急行、山梨日日新聞社
 山梨放送、テレビ山梨

MUSEUM 都留 & 増田誠美術館

開館時間 午前9時～午後5時
 ※増田誠美術館は午後4時30分まで
 観覧料 一般 300円(210円)
 高・大学生 200円(140円)
 小・中学生 100円(70円)
 ※()内は、20名以上の団体料金です。
 休館日 月曜日、第3火曜日
 祝日の翌日
 ミュージアム都留
 問合せ先 ☎45-8008

第2展示室 城下町に伝わる節句飾り

市民の方々が所蔵されている、思い出の雛飾り・節句飾りを展示します。
 ※4月29日は市制祭のため無料開放です。

エントランスホール 市民手作りの「つるし雛」展

市民の方々手作りの「つるし雛」や「雛飾り」を多数展示します。観覧無料です。

関連イベント 甘酒ふるまい

4月10日(日)

新町お囃子演奏

4月17日(日)、29日(祝)

こぶたの会「おはなし会」

4月23日(土)

紙ひな作り

4月24日(日)、30日(土)

問合先 ミュージアム都留

城下町つるの雛まつり展実行委員会
 重原 (43) 1497

Report

勝山城の調査を終えて

— 中津森館跡調査編 —

最終回となる今回は、勝山城の関連遺跡である中津森館跡の調査について報告をします。

宝地区の桂林寺から用津院にかけての1帯には、郡内領主小山田氏の館があったと伝えられており、現在もこの辺りは、中津森館(跡)と呼ばれています。周辺にはデイ堀の的場といった、館に関する呼び名が残されており、この周辺の田畑では、中世の陶磁器片を採集することができます。江戸時代に編さんされた『甲斐国志』によると、「用津院の東にあり、里人は今も御屋敷と呼ぶ、外郭溝涯処々に列し存したるを土居堀とせり」と記されています。しかし、この用津院の東側については、過去に調査を実施しましたが、館の確認には至りませんでした。

これまで具体的な場所を特定できずにいたため、発掘調査や地中レーダー探査・航空写真・地形測量図や古地図など様々な方法によって周辺の調査を行い、この成果に基づいて平成18～19年度にかけ、地権者のご厚意により数カ所試掘調査を実施したところ、中世の陶磁器片が多数確認され、堀の跡などが確認されました。このことにより、伝えられてきた館の推定域に中津森館が存在していた可能性が高くなりました。

さて、1年にわたって勝山城跡学術調査の内容について報告してきましたが、これにて、勝山城の調査を終えるの掲載は終了となります。今後も折に触れて皆さんに情報を発信していくとともに、勝山城にまつわる絵図や文書や伝承などの情報もお待ちしていますので、よろしくお願ひします。



■中津森館跡周辺

増田誠美術館

増田誠美術館企画展「増田誠画伯が描いた日本」

フランスを拠点に創作活動を続けていた増田画伯が日本に帰国した際、わずかな時間でふるさと都留の風景や、北海道の祭りなどの作品を制作されました。今回は、日本をテーマにした作品を展示しています。ぜひ、ご覧ください。

会期：3月5日(土)～6月5日(日)まで
 開館時間：9時～16時30分
 会場：増田誠美術館(ふるさと会館2階)



作品介绍

『富士』(1980)油彩画10号F